



2021年11月15日

各位

会社名 株式会社オプティマスグループ
代表者名 代表取締役社長 山中信哉
(コード：9268 東証第二部)
問合せ先 総務・IRユニット長 足立 敢
(TEL：03-6370-9268)

2022年3月期 連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月13日に公表いたしました「2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想」及び「2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の配当予想」を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 連結業績予想(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	38,600	2,450	2,400	2,050	464円70銭
今回発表予想(B)	43,000	2,800	2,750	2,400	556円59銭
増減額(B-A)	4,400	350	350	350	91円89銭
増減率(%)	11.4	14.3	14.6	17.1	19.8
(ご参考)前期実績	24,920	864	1,262	953	216円14銭

2. 2022年3月期 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	45円00銭	—	55円00銭	100円00銭
今回発表予想	—	55円00銭	—	70円00銭	125円00銭
当期実績					
(ご参考)前期実績	—	14円00銭	—	36円00銭	50円00銭

3. 連結業績予想及び配当予想修正の理由

当社グループの主な収益の源泉である最重要市場ニュージーランドの経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)によるロックダウンが当第2四半期連結累計期間にも発動されましたが、対策が相対的に成功し、積極財政等に支えられて国内総生産（物価調整後）は今年中にCOVID-19前の水準を回復すると予想されています（IMF）。この回復基調の下、ニュージーランド中銀は2021年10月に利上げを行い、以降、ニュージーランドドル対日本円為替相場は水準を切り上げ1ニュージーランドドル=81円近辺で推移しています。同国中古自動車市場は、ロックダウンに因る滞貨の影響はありますが、中古自動車市場の昨年度後半からの旺盛な需要が継続しております。

当社が戦略的成長市場と位置付けるオーストラリア経済については、ニュージーランド同様、回復基調にあるものの、目下、COVID-19対策としての断続的なロックダウン措置がマイナス要因として表面化しております。但し、中長期的な視点からは、オーストラリア市場も安定した法制度等のインフラを有し安定的な成長が見込める先進国市場であり、その位置付けは変わらないものと考えております。

上記のCOVID-19下の需要や円安をプラス材料とする事業環境の下、当社グループが進めてきた既存事業の一層の収益力強化策が奏功し、期首計画策定時の想定を超えて成果を上げております。特に主軸であるニュージーランド向け中古自動車輸出のロックダウンに因る数量減少を他国向け輸出でカバーすると共に、ニュージーランド市場でのシェアアップにより商量を確保し、更に旺盛な需要による価格上昇と円安が売上高及び最終利益を押し上げております。またCOVID-19の影響からの回復途上にある検査事業も収益改善策の進捗に加え円安効果から徐々に収益を回復しております。

以上により、2022年3月期通期の業績予想を見直した結果、売上高430億円（前回公表比11.4%増）、営業利益28億円（同14.3%増）、経常利益27億50百万円（同14.6%増）、親会社株主に属する当期純利益24億円（同17.1%増）の増収増益と、前回予想より改善する見込みでありますことから「2022年3月期の連結業績予想」を上方修正いたします。

また配当につきまして、当社は従前より株主の皆様に対する安定的な利益還元と継続的な企業の成長の双方を経営の最重要課題の一つと認識しております。本方針のもと、2022年3月期の配当予想につきましては、中間配当55円00銭、期末配当70円00銭、合計年間配当125円00銭の配当予想とさせていただきます。

（注）上記の市場予想、連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断並びに予想したものであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上